



テストを受けている77期生を見て一言…。

定期テストご苦労様でした。考査前、昼休みに自習に励む77期生が数多くおり、学習会で熱心に質問したり、昇降口の時事号外新聞を入念にチェックしたり、これまでの定期テストより熱心に臨んでいる生徒が多かった印象があります。今回のテストで、過去最高点は取れたでしょうか？

試験の受け方については、もう充分わかっている人が多いと思いますが、今号では、「気になった点」や「試験監督者の見方」について紹介します。



学力検査で何が見られているのか？

その一 各教科のテストの得点

当然ですが、試験時に一番評価されているものは「**テストの得点合計**」です。これが取れなければ、どんなに良い子であっても合格できないはず。テストで不正解だった部分は、知識定着が図れていないところ。テスト解説をよく聞いて、解き方・考え方を理解し、反復練習に努めてください。

その二 生徒の身だしなみ（服装・頭髪・爪等）

2日間テストを受ける姿を見ていると、「中学生らしいさわやかさ」が感じられなかった人も一部でしたが、試験官は、しっかりと受検(験)ができる環境にあるか、不正行為がないかを見るだけでなく、面接前の受検(験)生の様子もバッチリ見ているのです。この2日間で気になった点は、

- | | |
|------------------------|---|
| ①頭髪に爽やかさを感じない(ボサボサ・長髪) | ②リボン・ベルトがない(あるべきものが不足) |
| ③ボタンが外れている、靴ひもがほどけている | ④試験中に上履きを脱いだり、かかとをつぶしている |
| ⑤靴下が白でない、丈が短い、ワンポイント有 | ※受験の時は儀式用白無地靴下です。3年生は受験同様定期考査、到達度確認テストとも白靴下で受験です。 |
| ⑥リボンの結び方がゆるい(だらしく見える) | |

このような生徒は、入試当日はしっかりチェックされ、面接官に不備の箇所が連絡されます。面接でも改善できていなければ「即アウト」、面接で修正されていれば、「日常的に気をつけていない・一場面だけ整える人」と評価されます。1人あたりの面接時間は10分程度。面接試験だけでは時間が不足するため、実は、多くの学校が学力検査時から受検(験)生は見られ、評価されているのです。

その三 テストでのやる気

ここでは、以下の2つの面が評価の対象になると思われます。

- ①答案上で合格したい(得点を増やしたい)という意欲を伝える ②姿勢面できちんとすること

社会科小テストでは「解答欄を全部埋めているか」をチェックしていますが、これは①の習慣づけのために行っています。空欄が多い答案用紙では「何とか合格したい」という気持ちは伝わりません。仮に正解かどうか自信がない場合でも、答えを書かなければ何も始まりません。

②では、机に覆いかぶさるような姿勢の人、諦めてしまったのかポーっとしている感じの人、脚を組んでテストを受けている人、残り時間寝ている人を数名見ました。当然、試験官にチェックされる人なのだと思います。高校の先生方は、試験中だけでなく、休み時間や控室の様子、そして入試会場までの登下校の様子(安全指導の先生)までチェックをしていることを皆さんはご存知でしょうか？

もちろん、「そのときだけ、きちっとやる」は、案外できないものです。当然そのようなふるまいは、試験官にはすぐわかるものです。どんな場面でも、一生懸命頑張る人の「ひたむきな気持ち」は必ず伝わるもの。日ごろから、誰に見られてもよいように「きちんとした姿勢」を意識したいものです。

7月3日(月)は「到達度確認テスト」です！！

○到達度確認テストの結果は、通知票評定には反映しませんが、**進路面談での基礎資料**とします。

○中1からの内容が出題されますが、例年、以前学習した知識を忘れている(定着できていない)場合があり、定期テスト5科合計点より、到達度確認テスト5科合計点の方が低くなる人が多いです。

「**到達度(知識)を確認するテスト**」ですので、現在、知識が定着できていない(忘れてしまっている)内容を確認し、夏休みの復習に役立たせてください！！範囲は「進路だより12号裏面」または「四中HP」で確認してください。 **FIGHT!! 77期生!**

